ラビットガール

Wonder Rabbit Girl
Yui Hirose

廣瀬ゆい 6

JUMP COMICS SQ.

ワンダーラビットガール

Wonder Rabbit Girl

廣瀬ゆい

Yui Hirose

6

JUMP COMICS SQ.

目次

第20話 とまどいプリンセス 5

第21話 ドルオタ 恋の告白 53

第22話 私はローゼンクロス 95

第23話 はじまりに戻る 137

登場人物紹介

Rei Nanami

七海 澪 ななみれい

コミュ障で地下アイドル好き。敬愛する兄の心を壊した原因を調査するため兄の通う学園に潜入する。

Ren Nanami

七海 蓮 ななみれん

エリート高校の青慶学園に通う。生徒会長になることに固執していたが、現在は心を壊して入院している。

一般生徒

Saori Kinoshita

木ノ下沙織 きのしたさおり

地下アイドルの“沙織”として活動する。蓮のことを好きだというが、彼の心を壊したワンダーラビットガールだった!?

生徒会

Seitokaicho

生徒会長 せいとかいちょう

蓮のことを危険視している。ワンダーラビットガールを見つければ生徒会長になれるという偽の情報を蓮に伝えていた。

Mariya Teshiwara

勅使原まりや てしわらまりや

2年B組。会長秘書。生徒会長の指示に従い、蓮の身辺を探っていた。

あらすじ

尊敬する兄が心を病んだ原因を調査するため、兄に変装して青慶学園に潜入した澪。彼は兄の病室で手に入れた容疑者の女生徒の性癖リストを使って彼女達を攻略し、情報を集め始めるのだった。生徒会長を目指す事にワンダーラビットガールを見つけるヒントがあるのを知った彼は、攻略した女子達からの推薦状を集めて回っていた。そんな時、校内で出会ったのは、ずっと応援し続けてきた地下アイドルの「しゃおり」こと沙織だった。しかし、お見舞いに兄の病室を訪れた時、そこで沙織が自分がワンダーラビットガールだと口にするのを耳にしてしまい…!?

【第20話】　とまどいプリンセス

ワンダーラビットガール

Wonder Rabbit Girl

あれ…
話し声

誰かお見舞いに
来て…

――弟君は
何も知らないわ

私がワンダー
ラビットガール
だって事

…でも

これだけは
知って欲しいの

…私は

あなたが
好きだって事――…

七海

ただいまー

澪ー
お兄ちゃんの所
行ってきたん
でしょ？
様子は
どうだったの？

タ…

ああ！
兄さんなら
とっても元気に
ピンピンしてたよ！

あらそう？

ガチャ

ふうー

良かったー
兄さんが
元気そうで！

ベリリ

SAORi

安心したら
なんだか気分が
アガってきたぞ！

今夜はどっか
遊びに行こっかな！

ドサ

PLEASE WAIT!!!

ドサドサドサ

SAORi

沙織

SAORi

ボッ

そうだ

あの世行こう

ボッ

うっ…

うっ…

っ…

なんで…？

なんで
よりによって
兄さん
なんだろ…

2年前 12月24日——

はあ…
今日も女子から
クリぼっちって
バカにされた

ふわ

寂しすぎて
悪口さえも
下ネタに聞こえて
しまった

もう手首切ろ

僕は人生に
絶望していた

毎日
楽しい事なんて
何もないし
目標もない

生きてる意味も
とくにない

はあ…
心も身体も寒いし
もう帰ろっかな

そんな時だった

♪
♫

こんばんにゃー！
今日は私のために
集まってくれて
ありがとー！

萌え萌えドーン★

な…
なんじゃありゃ

なんか
ヤバイ人が来たぞ…

ねえねえ
何アレー？

自称アイドル
だってー

ああー
勘違い女が
やるやつでしょ
今流行りの

…きょっ 今日も
盛り上がって
いってねーっ！

それじゃあ
一曲目
いっきまー…

ガシッ

ぶっ
なにあれ
ダッサー！

キモ

ズバッ

アアアア

鏡見(かがみ)なよ
地味女(じみおんな)

ゾワ

……

ヤバイヤバイ

ドン

あっ…
…あのっ…
し

ここ…
…これ

ぽっ…
僕の足下に…
転がってきて…

キャ――!?
いい

キャ――!?

ビクッ

は!?
なんであんた
ここに居(い)んの!?

えっ…?
えっ!?
おず…

…ってあれ?
その制服(せいふく)…
…人違(ひとちが)いか

―ごめん
驚(おどろ)かせて

いつもこの時間(じかん)って
誰(だれ)もいないから
一人(ひとり)で練習(れんしゅう)してたのよ

れ…練習(れんしゅう)…?

そう
アイドルの練習(れんしゅう)

木ノ下

イイヤだ…
アイドルなんて
女子(じょし)オブ女子(じょし)みたいな
女子(じょし)!

そっ…
そうですか…

ダメだ怖(こわ)い
もう耐(た)えきれない…

初対面の女子と
会話するなんて
ハードルが高すぎる！

そっ……

一刻も早く
立ち去りたい…!!

それじゃあ僕は
そろそろ
お暇しま…

…ねえ

君…ヒマなら
付き合って
くれない？

私の練習

…そう言うと
彼女はおもむろに
立ち上がり

自家製の
マイクを握って
歌い始めた

それは
コメントに困る
下手クソな歌と

ニワトリの様な
たどたどしい
踊りだったけれど

ディスボイス…

でも…
なんだろう
この気持ち

僕とは違い…
夢に向かって
汗を流して歌う彼女が
やけに輝いて
見えたせいだろうか

不思議な事に
僕は目を奪われ
気付けば
瞬きすらも
忘れていた――…

木ノ下

ぼーっ

…私

ゆくゆくは
国民的アイドルに
なるつもりなんだ

今度 初めて
オーディション
受けるんだけど
いつか沢山の人に
注目されるのが
夢なの

へ へえ…

木ノ下

…な
笑え
るでしょ

たいして
可愛くもないのに
アイドルなんて

いっ…一応
歌唱力には
自信あるんだけど

私 キャラとか
立ってないし

見た目も
こんなかんじで
地味だし
…あはは

木ノ下

――鏡見なよ
地味女

……

じ…
地味だなんて

そんな事ないと
思うけど…

なんていうか…
踊ってる時も

すごく
ダイナミックで
存在感
あふれてたよ！

主に乳がな

い…いいよ

別に無理して
お世辞とか
言わなくて

はっきり
ダメ出しされた方が
マシだし…

っていうか…
どうせあなたも
内心バカに
してるんでしょ？

木ノ下

ビクッ

すすいません
別にお世辞じゃ…！

ああもう
それなら
何(なん)て言(い)えばいいんだよ！

なっ…
何(なん)でもいいから
とにかく
褒(ほ)めとかないと――!!

うっ 嘘(うそ)じゃない…
ホントに
すごかったもの…!!

とにかく
ぶるんぶるんしてて
目(め)が離(はな)せなかったよ！

踊(おど)りだけじゃないよ
歌(うた)だってものすごく
奇抜(きばつ)な音程(おんてい)だったし

もはや
磨(みが)けばたまに光(ひか)る
石(いし)ころの原石(げんせき)っていうか…

主(おも)に乳(ちち)がな

…ほ

…本当(ほんとう)に…？

あっ…
ありがとう…

本当(ほんとう)に…
嬉(うれ)しい…！

あなたが
初(はじ)めてだよ…

私(わたし)をこんなに
褒(ほ)めてくれた人(ひと)……！

それはまさに

トクン

女子が初めて僕に笑顔を向けてくれた瞬間だった

トクン

じゃあ私帰るよ

付き合わせてごめんね

それじゃ…

っ…

あっ…

僕はこの胸の鼓動が何かもわからずに

ドッ

ドッ

ドッ

自然と言葉が出ていたんだ

待って！

ドクン

あっ…

あのうっ…！

まっ

周りに…どれだけバカにされても関係ない…

だから僕(ぼく)…っ

君(きみ)はもう…

だ唯一無二(ゆいいつむに)の僕(ぼく)にとって
唯一無二のアイドル
だから…！

一生君のファンで
いるから――！

一生
沙織

ありがとう…！

…僕はやっと見つけた

生きる目的を――…

そう…
思ってきたのに――…

…あの日から
僕は誰よりも
しゃおりの事を
想ってきたんだ

そう…
いくら兄さんが
天才だろうが
完璧だろうが関係ない

これだけは
僕が
兄さんに負けない
唯一の事だと思ってた

っていうか あんな
おあつらえ向きの密室で
キスしてたって事は…

まさか
今頃――…

ちゃぷ

ちゃぷ

ちゃぷ

はっ？

ぬっ♡

！

っ…

だだめよ
こんな所で…
これ以上…っ

もし誰かに
見られたら私…
アイドルで居られなく
なっちゃう…！

…あっ

それに私には
ファンのみんなが…

何よりあなたの弟君だって…！

澪？

関係ないよ

だって俺の事が好きなんだろ？

ちゅぷ ちゅぷ ちゅぱ

ガク

あっ くちゅ

ちゅぷ ちゅぷ ちゅぱ

ガク

ポロッ

んっ…あっ

あっ…！

待っ…
だめ…っ

弟君に
見られてる
ってば…っ

本当に嫌なら

俺から
逃げればいい

言いなよ
どっちが大事か

あっ…

だめ…

も…
ガマン出来(で)ない
…っ

ガク

ガク

はあっ…
はあっ…

てくん

てくん

澪(れい)くん
ごめんね…

ごめんね…っ！

ぴくぴく

今(いま)まで私(わたし)を
買(か)い支(ささ)えてくれて
ありがとうっ…

けど…っ！

ぷしゅ

ぷしゅ

あぁっ♡

あぁっ♡

私とあなたは所詮っ…

チェキだけの繋がりなのーーっ！

ちゅぷ

あっ

ちゅぷ

ぷしゃっ

あっ♥あぁっ

ちゅぷ

ヤヤメロ――！想像したくないのにとめどない煩悩が僕を惑わせる！

絵面が湯水の様に沸いてくる――!?

…だめだ…もう一人で考えたって解決しない

ハッキリ兄さんに聞けばいいじゃないか…

だって…
僕達兄弟なんだから――…

にっ…
兄さん！

澪…

た頼まれた
着替え
持ってきたよ！

…あ

ごめん…
昨日来られなくて

ドア

メール返した後
うっかり
寝ちゃってさ…
あはは！

……？

…せっかく来てくれたのに悪かったな

実はもうすぐ退院出来そうなんだ

…えっ!?

それ…どういう事…

ずっと人間関係に悩んでたけど

決着が付いたからもういいんだ

これできっと

俺は自由だ

だから澪(れい)は

もう何(なに)も心配(しんぱい)しなくていい――!!…

……

兄(にい)…さん？

RRR

ぐぅ…

ぐぅ…

ぐぅ…

こ…
こんな事…

出来るわけ
ないよ…

キーン
コーン

うーん…
結局 兄さんの話は
どういう意味
だったんだ？

もしかして
兄さんが心を壊したのって
しゃおりとの
痴情のもつれが原因
だったのかな…

それが
自由になったって事は
つまり…
キレイに別れたって事？

って事は
もしやアレは
お別れのキス…？

しゃおりの
チェキ会！
きっとそうだ…！

兄さんは優しいから…
僕が
しゃおりガチ恋な事に
気を病んで心を――…!?

ま…
兄さんも全快に
向かってるし

ワンダーラビットガールは
生徒会選にも
関係ないって分かったし

あれ？
もしかしてこれで
全部解決？

しゃおり…

…あっ！

あれ…
今(いま)…

泣(な)いてた――…？

あ…

あの…！

なんか
泣(な)いてたみたい
だったから…

…ううん
大丈夫(だいじょうぶ)よ

ありがとう
…澪(れい)くん

やっぱり…
僕(ぼく)が
兄(にい)さんじゃない事(こと)
知(し)ってたんだ…

当(あ)たり前(まえ)じゃん
分(わ)かるよ

けど黙(だま)ってて
ごめん

学校だと私
アイドルの時と
全然違うから…

なんかファンの人と
学校で会うのとか
恥ずかしくて

でも澪くんは
特別だし
まあいいか

と…特別？

ボッ

…あれ
これもしかして

僕 しゃおりと
付き合えるんじゃ…!?

特別かあ…

…って事は

やっぱり
兄さんとは別ね

あのさ

これから時間ある…？

――澪くん

おまたせ

どこから行こっか？

しゃおりクラスになるといつどこでカメラが光ってるか…

しゅけどいいの？

それなのにこんな若者のデートスポットなんかに来ちゃって…僕と

もしかしたら明日の朝刊で熱愛発覚なんて事に…

僕と

あはは

ありえないってそんなの

ほんと最近
イヤな事ばかり
だったから

誰かと思いっきり
遊びに行きたかった
んだ

私まだ
全然有名じゃないけど
来年あたりには
紅白出てる予定だから

今しかこんな風に
デート出来る機会
ないし

デデート!?

私ちょっと
売店行ってくるね

ドッ
ドッ
ドッ

ここれってデート
だったんだ…！…

ただのオタクと
アイドルが
付き合える可能性も
あるって事かも…！

…そういえば

結局しゃおりも
エリート女子だった
わけだけど…

もしかしてしゃおりも
あの性癖リストにいたりして…

…今までの
経験からして

弱点さえ分かれば
攻略出来る
自信がある…

そ…
そしたらきっと
兄さんじゃなくて…

本当に本物の僕を
見てくれるかも
しれない…

澪くん

ビクッ

ごめんごめん
売店混んでて
遅くなっちゃった…

あっ
でもこれ
めっちゃおいしいよ

一本食べる？

……

…やめよう
こんなインチキみたいな事

本来なら
千円で30秒しかお話できない
地下ドルなんだ…

こうして
一緒に遊べただけで
奇跡じゃないか

なにより…

彼女は僕に
生きる楽しみを
与えてくれた
大切な人だ…

僕にだって
譲れないモノがある

仮にしゃおりが
ドスケベ性癖女子
だったとしても

僕は決して彼女を
汚れた目では見られない

絶対に――…！

…あっ

もー
おつりが…

ごめん
行こっか

ウウン！

はー
楽しかった

誰かとこんなに遊んだの久しぶりだよ

ありがと

ここちらこそ…

そろそろ暗くなってきたね

ドキ

それとも空気読んで別れを切り出せって事？

そうだね

まさかそれはいい雰囲気になってきたねって事？

ええい！

どっちか分からないけど僕の答えは決まってる…！

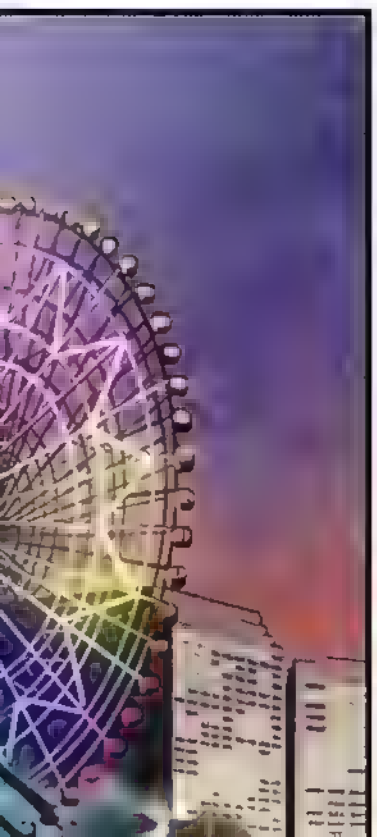
お持ち帰りだ――!!

キリッ

ああのさ！

…明日も学校あるし

帰ろっか



うん…

そうだね

それじゃ…

今日は
付き合ってくれて
ありがとう

渋谷

楽しかったよ
また
学校でね

バイバイ…

はあ…
結局
何も言えなかった

こんなチャンス
もう一生無いかも
しれないのに…

どうして僕は
何もかも小さい奴なんだ

あーあ…これでまた
地下ドルと
ガチ恋オタクの図に
戻ったのか…

はあ…

……えっ？

い…今…
なんか
目が合った様な…

いいや…
そんなまさか

きっと最近
いろいろあって
疲れてるんだな 僕…

しゃおりが
振り返る理由なんて
ないし

見間違いに
きまってる…

変な期待は
結局 後で
虚しいだけだ――…

ゆっ…

…今日(きょう)はありがとう

…さっきは言(い)えなかった事(こと)聞(き)いてくれる？

…私(わたし)失恋(しつれん)したんだ

え…あ

あえ…

ヒクッ

…澪(れい)くん…

…お願(ねが)い…

私(わたし)の事(こと)

慰(なぐさ)めてくれる…？

ワンダー
ラビットガール

Wonder Rabbit Girl

…私

失恋したんだ

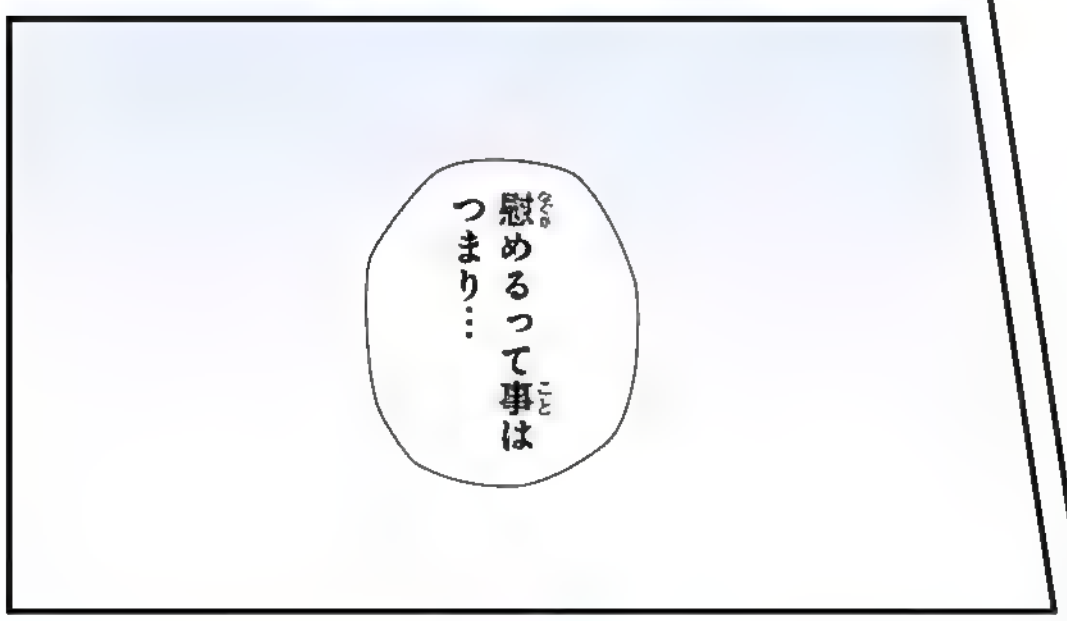
私の事

慰めてくれる――…？

【第21話】

ドルオタ 恋の告白

えっと…
し失恋(しつれん)…？


慰(なぐさ)めるって事(こと)は
つまり…

そうじゃないよ

106
ああ！
もしかして
思(おも)いっきり
買(か)い物(もの)したいとか!?

酒場
営業中！
八福丸酒
190円
それじゃあ
やっぱりヤケ酒!?
あっでも
アイドルと飲酒は
NGだし

かわいらしく
ヤケマカロンとか
どう!?
ついでに女子力も
体重も増えて
オトクだよ！

うぅん
二人っきりに
なりたいの
やっぱ
そういうカンジ――!?
HOTEL LOVE
18

はあっ
あっ…

はあっ…

はあっ…

シコ
シコ

ニュッ
ニュッ

なお

よまこ

いっ…
今(いま)まで何百回(なんびゃっかい)も
握手(あくしゅ)したのにっ

いつも握(にぎ)ってるのと
こんなに違(ちが)うなんて
知(し)らなかったわ…っ！

よまこ

はあっ…
おっミ
あっミ
ニヤコ
ニヤコ
はぁ…
ブルッ…
それにしぃ
おっ

こんなに慣れた手つきで脱がせるなんて…！
ビク
あっ…!?
ニヤコ
くちゅくちゅ
ニヤコ
ひくひく
ニヤコ

ああ…！私の事一推しだって言ってたのにっ…！
他の子ともこうして深夜の握手会してたの…!?
くちゅくちゅ
くちゅくちゅ
んんっ…
んっ
おぉ
おぉ

はあっ…
あっ…
だだめえっ！
私…
アイドル
なのに…っ
アイドル
なのに…っ
推されたいのに
挿されちゃうーっ！

――という様な妄想が

ついに今
現実になろうと
している！

生きてて
良かった…

だが
失敗は許されない

文字通り
本番はこれからだ…
カッコ良くいくぞ！

…澪くんは
こういう所
来た事あるの？

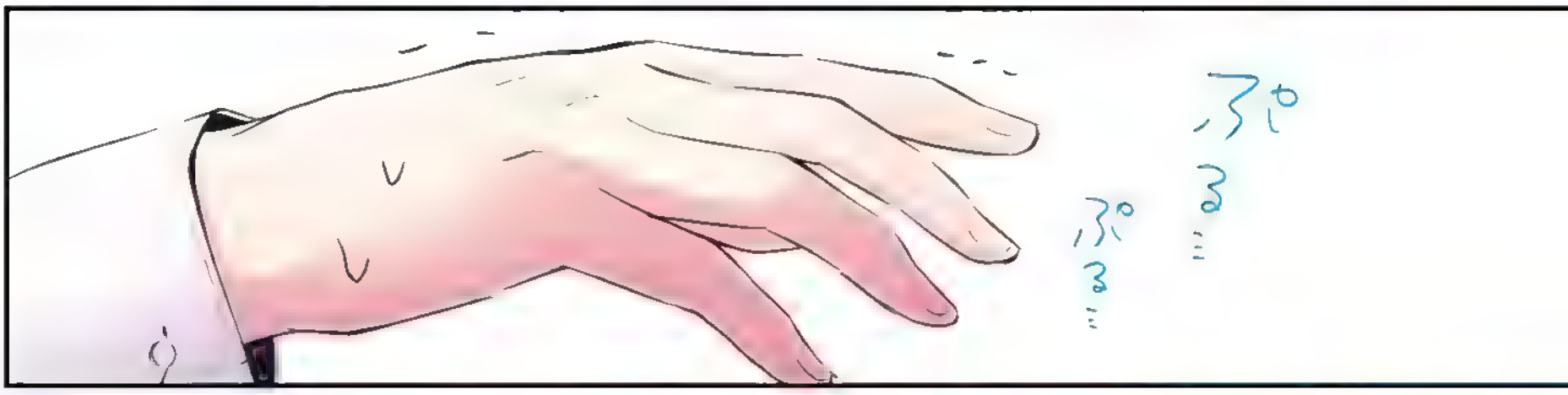
まっ まあねっ

頭の中で

ドクン…

そっか…

私(わたし)は初(はじ)めて来(き)たんだ



やっぱ無理(むり)だよう――！

(ロ:)

妄想は所詮
妄想なんだ…！

ぼ 僕が上手に
出来るわけない！

僕はただの
性癖チート野郎
なんだよ
どうしよう――！

…握手会でも
ないのに

やっぱり二人きりは
緊張するよね…

慰めようとしてくれて
ありがとう澪くん

いつもと
違う自分を見せるのは
恥ずかしいけど…

ムニュ…

…でも
今日だけは

みんなに笑顔を向ける
地下アイドルの
私じゃなくて

あなたの前では

普通の女の子になってもいいよね――…

――…えっ？

普通の女の子…？

2年前(ねんまえ)——

僕(ぼく)——
一生(いっしょう)君(きみ)のファンで
いるから…！

一生織沙

…あ
ありがとう…！

そうだ…
明日(あした)のクリスマス
初(はじ)めてライブを
するんだけど
良(よ)かったら
観(み)に来(き)てくれない？

3人組(にんぐみ)なんだけどね！
私(わたし)一応(いちおう)センターで
歌(うた)うのよ！

うわあ
メインで歌(うた)うなんて
さすがだなあ！
明日(あした)は耳栓(みみせん)持(も)って
駆(か)け付(つ)けるね！

それじゃ

明日(あした)
楽(たの)しみにしてて！

――翌日

僕は約束通り
彼女の初ステージを
観に行った

地下ドル
MIX
12/25
OPEN
19:00

ステージに
たった一人で

たった一人の
観客に向かって

すると驚いたことに

彼女は本当にセンターで
堂々と歌っていた

!!!

——みんな
昨日でアイドル
やめたんだって…

そっか…
だから一人で
歌ってたんだ

お客も
僕一人だったけど

まあ…
今日はクリスマスだし
仕方ないよ

少ない
お客さんを
沸かせるより
きっと
恋人と沸いてた方が
幸せだろうしね

少ないっていうか
僕一人だったけど

けど…この先
どうするの？

一人じゃ
アイドルグループ
なんて
続けられないん
じゃ……

そんなの
別に平気よ

私が3人分
頑張ればいいだけの
話じゃない

それじゃ 私
片付けとかあるし
もう行くよ

今日は
来てくれて
ありがとう

…あ

…良かったら
また観に来てね

今度はもっと
いいステージに
するからさ

それじゃ！

……

はあ…
女子ってやっぱ
強いなあ…

僕なら絶対
心折れてるよ…

…そうだ

一応 次の
ライブの予定
聞いとこっかな

あっ…

良かった
まだ居たん…

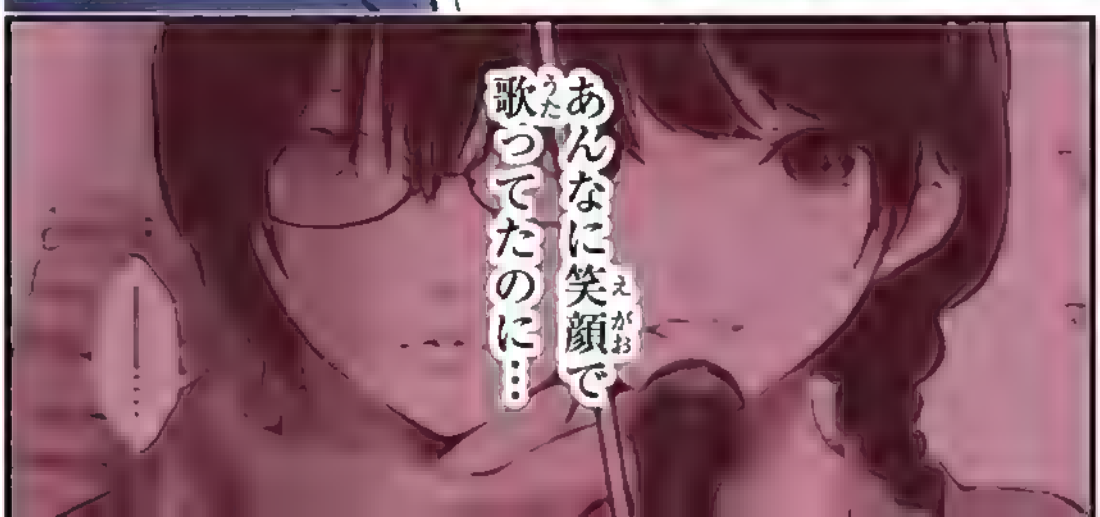
木ノ下

——女子(じょし)って強(つよ)いなあ

僕(ぼく)なら心折(こころお)れてるよ——

…だって

さっきまで…



あんなに笑顔(えがお)で歌(うた)ってたのに…

それからも…
彼女はあくまで
気丈を貫いていた

毎日練習を重ねて
歌は少し上達した

木ノ下

それでも観客は
一向に増えず

練習での生傷だけが
痛々しく増えていく

…そんな彼女を
僕はどうしても
ほっとけなかった

ツインテールとか
どう？

木ノ下

女性アイドル

千年に一度の美少女

ももちの生まれ変わり

こんなに可愛い

カタ

カタ

カタ

アイドルとしての幸せを
つかんで欲しかった——

（こういう衣装の方が
エロ…いや
似合うよ！

木ノ下

彼女に
アイドルとして
輝いて欲しかった

こんばんはー！

今日は来てくれて
ありがとピンクー！

ありがとピンクー!!

生沙織

沙織

今日のダンスは
なかなかキレがいいぞ
しゃおり

よし

EXCITE!!

一生沙織

二千年に1人の地下アイドル

僕好みに
しゃおりを改造した結果
彼女は地上に最も近い
地下アイドルとなった

たくさんの人に注目されて
彼女はとても
生き生きとしていた

3/14(火) 12:51

エンタメ

空手！初道館!!

そういえば
あの話
聞きました？

ああ 今 炎上してる ニュース？

あの トップアイドルが お泊まりとはねえ

テレビじゃ 男の人の 目も見れないとか 言ってたくせに…

清純アイドルなんて 嘘じゃねえか クソビッチが！

まあ 別にいいんじゃ ないですか？

アイドルだって 普通の女の子だし

推しには関係ない

……

…アイドルって

普通の 女の子じゃないから アイドルになれたんじゃ ないのか？

まあ…
どうでもいっか

しゃおりは
裏切ったりしない

FINAL

だって僕は
ずっとしゃおりの事を
見てきた

アイドルになりたいって
あれだけ強く思ってたんだ

彼女は絶対に
アイドルを
裏切らないはずだ…

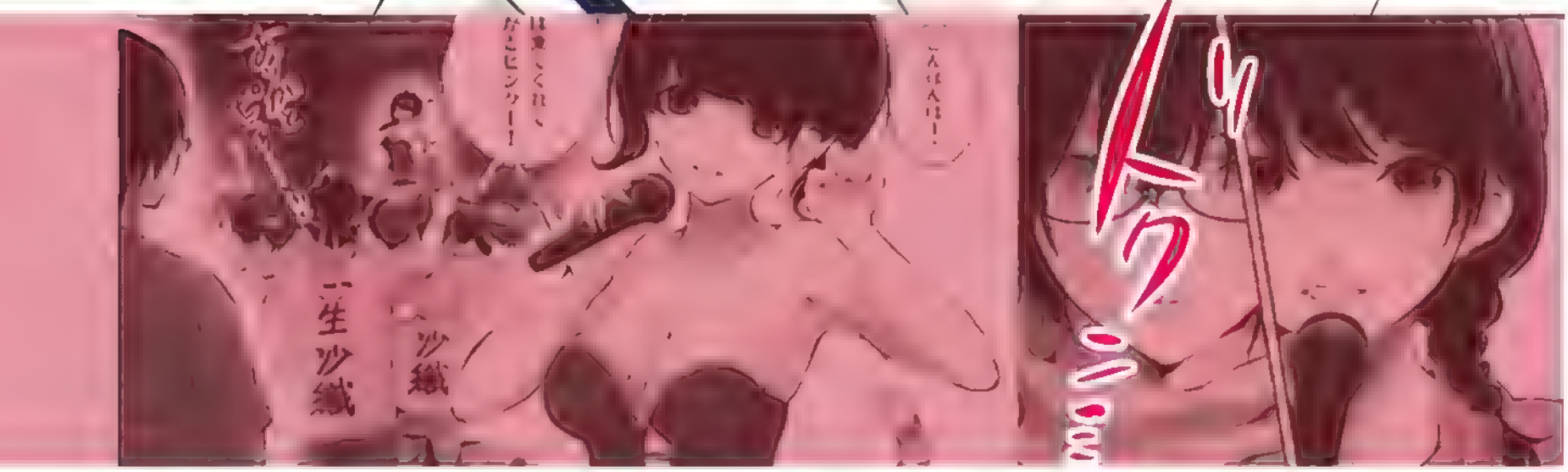
――それじゃあ…

脱がせて
くれる…？

ドクン…

…そんな
しゃおりを

アイドルの
しゃおりを



今(いま)まさに

裏切(うらぎ)ろうと
してるのは…

僕自身だ――！

あっ

握手っ

…あっ

握手…!?

……

…ぼっ 僕は…！

…僕は

下手クソな歌を
一生懸命練習してる
しゃおりが好きだった

ぼっ…
僕なんかと…っ

笑顔で
お喋りしてくれる
しゃおりが
本気で好きだった…

…本当に
好きだから…！

僕はどうしても君を
幸せにしてあげたいって
ずっと思ってきた！

アイドルとして
幸せに――……！

っ…だから

だから…っ
これからも
僕は――……！

僕(ぼく)は あくまで一生(いっしょう)
君(きみ)のファンだから

これからも末永く僕と
握手して下さい…っ！

うわぁぁ

うわぁぁあん

うっ

ううっ

……

…私はきっと

うわぁぁ

（ヤリたーい）

うわぁぁん

二度とこんな人には
出会えないだろうな――…

うわぁぁあん

（抱かれたーい）

こんなにも私を
アイドルとして
見てくれる人…

アイドルとしての私を
愛してくれる人…

ここまで本気で
私を応援してくれる人なんて――…

っ…

うっ…

えっ…？

しゃおり…

ごめん…
澪(れい)くん

私(わたし)は
このままじゃ

笑顔(えがお)で
ステージなんて
立(た)ってられない…

これ以上(いじょう)…

誰(だれ)かを傷(きず)付(つ)けて
アイドルなんか
やる意味(いみ)ない…！

チカ

チカ

……

どういう事（こと）？

実（じつ）は――…

青葉学園中等部

今日から七海君と同じクラスなんてヤバくない!?

幸せ過ぎるーっ

ドキドキ

ドキ

また一年間よろしく

木ノ下沙織さん

ええ…よろしく

——七海蓮

彼は
私のなりたい存在
そのものだった

彼は
そこに存在するだけで
多くの人の目を惹き
常に注目を集めている

まるで…
アイドルみたいに

なのに
周りの女子になんて
全く関心なさそうで

自分の人気を
ひけらかすわけでもなく
嬉しそうな素振りもない

そんな彼が私は大嫌いだ

なによ…もっと
嬉しそうにしたら
どうなの？

…私なんて

注目されたくたって
誰にも見て
もらえないんだよ――…

私にはない
天性のスター性を
持っているのに

その才能を
蔑ろにする彼が
嫌いだった

だけど…
それ以上に
彼の存在が羨ましくて
仕方なかった…

だって私は
どうしても
有名なアイドルに
なりたい…

いつかきっと
彼の様に
輝いた存在に
なりたい…！

ワアーア
…なぜなら

私は注目される事に興奮する

偶像美少女露出愛好（アイドルエキシビショニズム）なんだから――！

ファァ

まぁ…

そんな…ある日の事だった

3－A

ドサッ

…あ

…またこんなに贈り物が…

困ったな…

ガラッ

なぁ…

あ…あんたって
どういう神経
してるの？

そんなに
自分のファンが
いるのに
嬉しくないの？

私なんて
ファンレター
もらった事
ないのに…！

人の好意は
全部大切にしなよ

爽ましくて
腹が立つわ

涙ましい事なんて…
あるわけないだろ

たとえ
どれだけ好かれても
俺の身体は
一つしかないんだ

だから俺は
好かれた分だけ
ただ人を悲しませて
きた…

えっ…

けど…ごめん

結果じゃなくて
気持ちが一番
大切だね…

気付かせてくれて
ありがとう…
木ノ下さん

…あまりにも
腹立たしくて
うっかり話し掛けた
だけだったのに

私はまんまと
彼の輝きに
取り憑かれていく

……

それでも私は
国民的アイドルという
夢のため

彼への想いに
蓋をしたまま
時を過ごしていった――…

2－B

それじゃ
木ノ下さーん
雑用は
よろしく～！

はあ…
早くレッスン
行きたいのに

けど将来の
国民的アイドルが
一般人時代に
問題を起こすわけに
いかないわ

やっと
ファンの人も
増えたんだもの！

これも
紅白に出た時の
ため…

…あれ？
木ノ下さん…

…久しぶり

中学の時以来かな

どうしたの？その荷物

なっ…

七海君…！

いらっしゃい

っあ…っ！

イヤ…

ピーー

大丈夫(だいじょうぶ)？

っ…あ

ごごめん…！

ちょちょっと
ビックリして
躓(つまず)いちゃっ…

七海 蓮って

・・・こんな人だったっけ…？

待ま
っ…
待ま
って…!!
ドリ
ドリ
っ…
あ
あの
違ちが
っ…
じっ
実じつ
は
私わたし…!
だ
だ
だ
から…
わ
私わたし…っ
…アイドル？
学がっこう
では内ないしょ
緒に
してたんだけど
い
一いち
応おう
アイドル
やってて…
それで…!
ファンの人ひとたち
達が…
一いちばんたいせつ
番大切で…!

なにより
あなたの弟君(おとうとくん)なんて

ずっと私(わたし)の事(こと)
応援(おうえん)して
くれてるんだもの…！

あ…その
いつか聞こうと
思(おも)ってたけど

澪君(れいくん)ってあなたの
兄弟(きょうだい)でしょ？

一目(ひとめ)で
分(わ)かったわ
だって
そっくりだも…

…え？…？

何（なに）――――…？

ワンダー
ラビットガール

Wonder Rabbit Girl

【第22話】

——なにより あなたの弟君なんて

ずっと私の事 応援してくれてるんだもの——

な…七海君…？

何…!?

どうしたの…!?

ねえ…！

七海君(ななみくん)…！

ねえ――…！

ナニ？

ナニ？

ナニ？

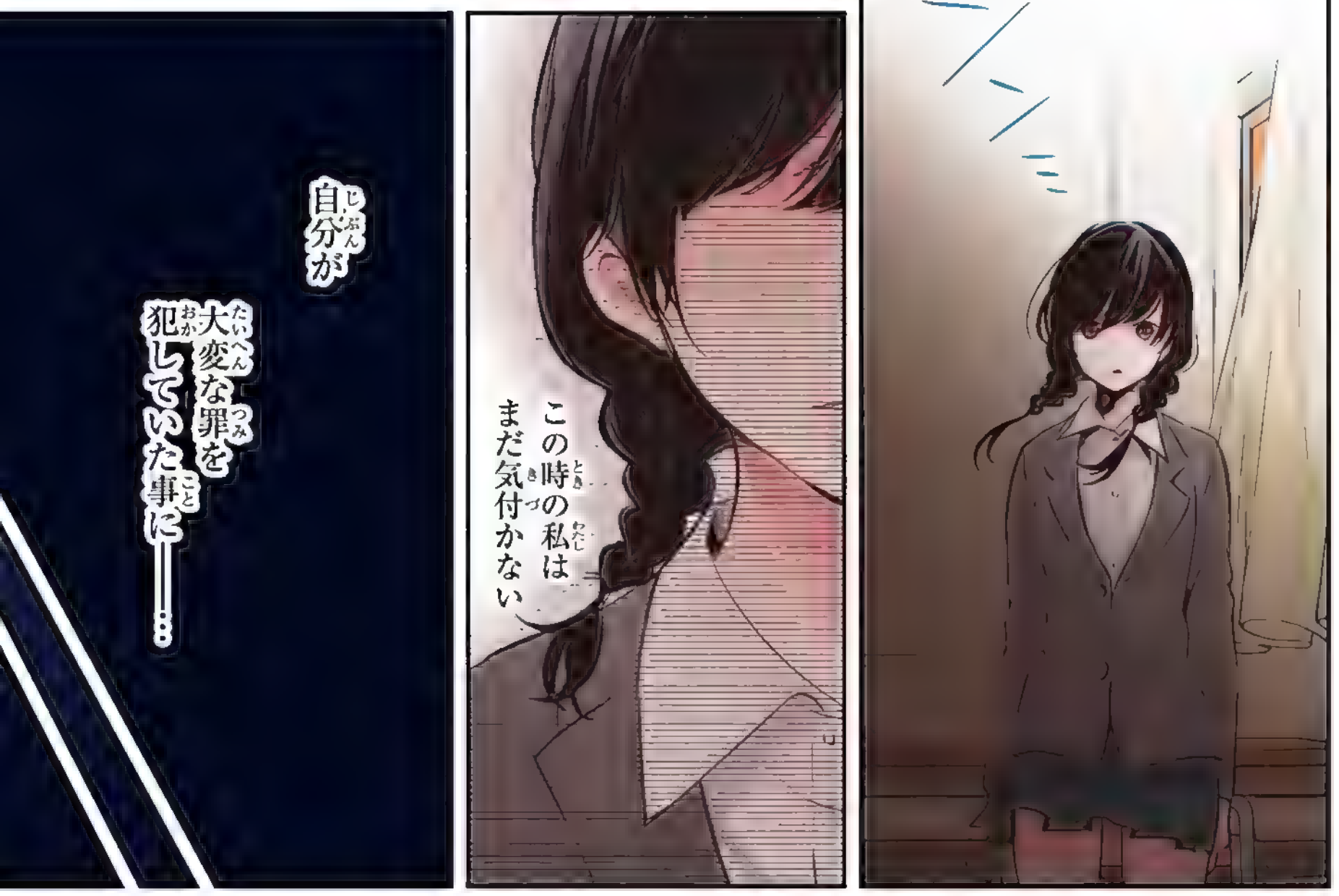
ナニ？

ハァ

ハァ

ハァ

ハァ



【第22話】　私はローゼンクロス

…何だったのかしら
昨日の七海君の様子…
単に体調でも悪くなっただけ？
それとも私が気付いてないだけで何か悪い事しちゃったんじゃ…
…やっぱり
本人に聞いてみるしかないか…
ねえ
ちょっと聞きたいんだけど――…

ああの…

市井彩花さんって
どんな人だっけ…？

…えっ？

E組の
市井さん？

高山 音楽

え…この人…

誰……？

キャアアア

キャアアア

七海君よー！

蓮くん――！

…えっ？

え…？
どういう事(こと)…!?

みんな、
何(なに)言ってるの…？

ｸｲﾊﾝﾐ

まさかこの人(ひと)…

澪君(れいくん)――…!?

…な なんで
ウチの学校(がっこう)に…

っていうか
なんでお兄(にい)さんの
フリして…!?

事情はよく分からないけど…
澪君に聞けば七海君の様子も分かるかも…！

ふふ…
私がここの生徒だって知ったら驚くかな？

ドクン

RRR

音楽

スッ

ワンダーラビット…

お前が
七海蓮を壊した
ワンダーラビットガールだ

ガール…？

知らないアドレスからだわ…

何？

ワンダーラビットガールって…

…けど…

なんで七海君の名前が…

アイドルごっこは
もう終わり

.....

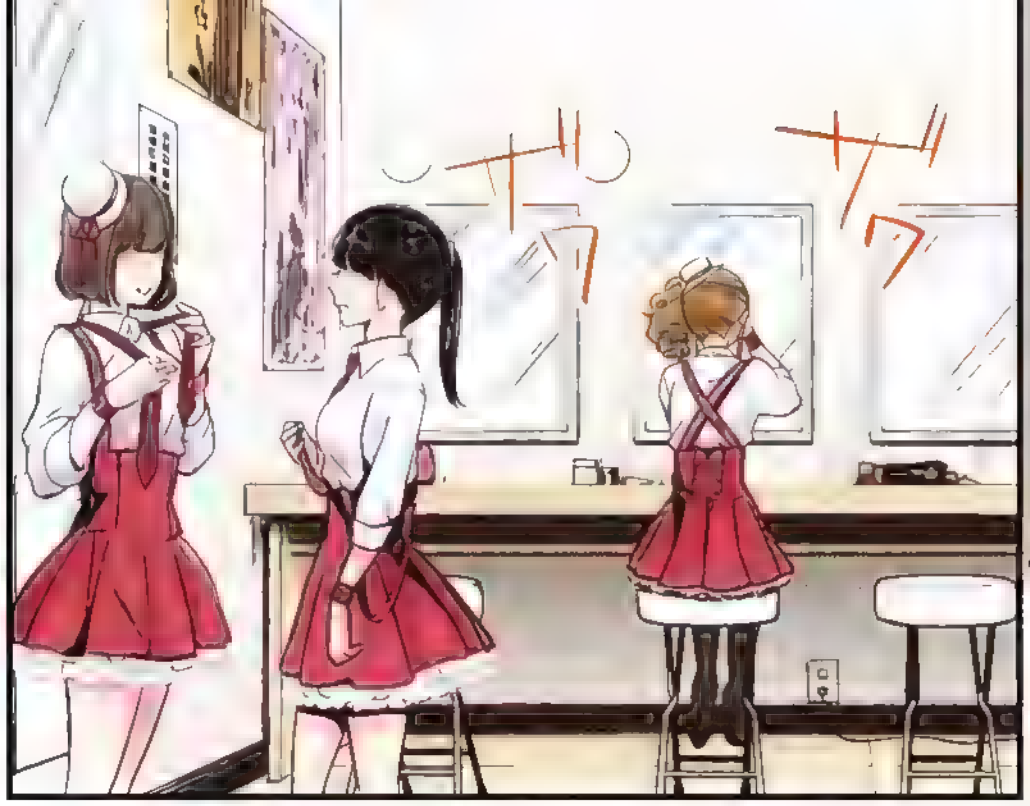
差出人

宛先

・ソノツーノヒットルール

アイドルごっこは
もう終わり

!!!



一体(いったい)…誰(だれ)がこんなメール…

私(わたし)が
七海君(ななみくん)を壊(こわ)したって
どういう意味(いみ)…？

それに…
アイドルの事(こと)は
内緒(ないしょ)にしてたのに
なんで知(し)って…

ねえ聞いた？
先週辞めた子の話！

ビクッ

ライブ終わって帰ったらさ
ガチ恋TOが家の前に立ってたんだって

きゃあああ

こじらせたファンほど怖い物はないよね

どんな手段を使っても手に入れようとするんだから

ねえ沙織ちゃんも気をつけた方がいいよ！

えっ…

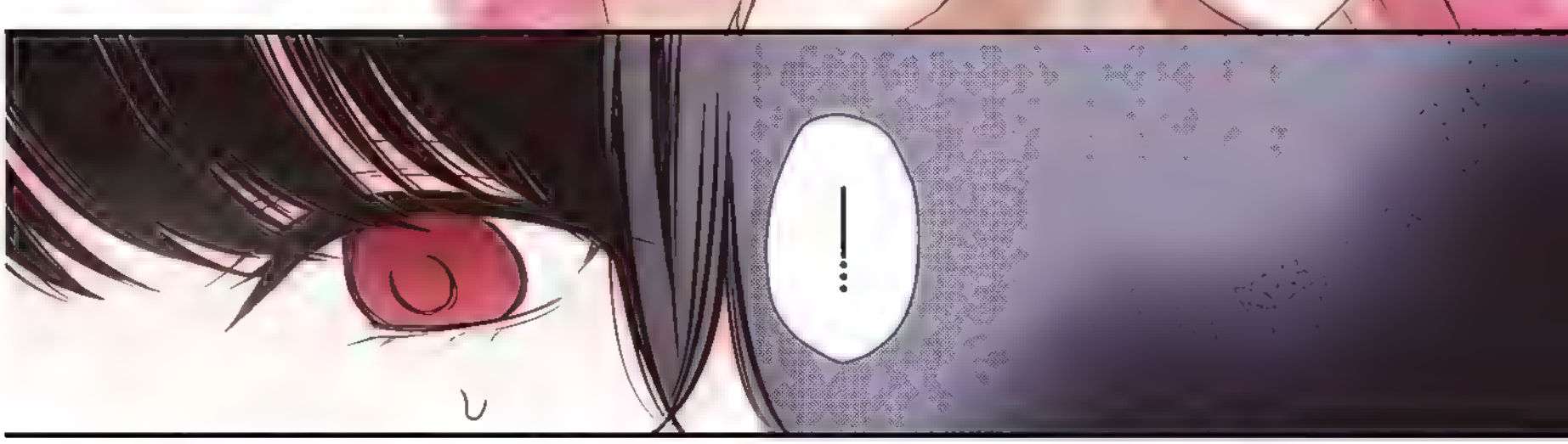
沙織ちゃんのTOもイカレ野郎じゃん！
ストーカー予備軍だよ！

ガ ガチ恋…

…ストーカー？

れ澪くん
今日も来てくれて
ありがとう…！
ハァーン
しゃおりぃ
今日も可愛い
おへそだね

うっ
とり
しゃおりTO


…！

そ…そういえば
澪くん
髪切ったでしょ？
急に
イメチェンなんて
どうしたの？
ああこれ？

勢い余って
自分で切ったって
いうか――
どうして…？
どうして学園で七海 蓮の
フリなんてしてるの…？

澪くんなら…
七海 蓮が倒れた事だって
家族なんだから
きっと知ってる

そして当然…
私がアイドルだって事も
知ってる

そして七海くんの様子が
おかしくなった日から
あの脅迫メールが来るまでに
私の周りにあった変化と言ったら

なぜか澪くんが
目の前に現れた事だけ――…

…もしかして
あのタイミングで
私にメールを送れたのは

澪くんしか
いないんじゃ…

ドクン…

ほんと怖いよね
ガチ恋とか

もし
彼氏バレなんてしたら
どんな手段に出るか
分かんないよね

愛が憎しみに変わったら
復讐されるかも
しれないよ！

ふ…復讐…

まさか…

弟が恋するアイドルに
同じく恋した兄は
兄弟で争う事に
心を病んで
倒れてしまった

そして弟は
彼女が
自分の兄に恋している事に
気付いてしまい復讐に奔る…

その兄弟間に
溝を作った元凶

それが
私なのね――!?

……

けど――…

…違う

澪くんが
そんな事するわけない

私が今こうして
アイドルをして
居られるのだって

ダメな私を
あそこまで
応援してくれたから
じゃない…

そう…
思(おも)っていたのに――…

…！
澪(れい)くん…

…どうしよう
もう全部話(ぜんぶはな)して
相談(そうだん)してみようかな…

え…
何(なに)か持(も)って…

あっあれは
私(わたし)の生写真(なまじゃしん)――!?
しかも水着!!

おっ お手洗いから
私の生写真を持って
出てきたわ――！

そこで一体
ナニをしていたと
言うの――!?

はあ…
兄さんのフリは
一苦労だけど

キミがいつでも
一緒にいるから
僕は生きていけるよ

うふふ
やっぱり僕には
キミしかいないって
事なのかな…

はぁしゃおり…
僕の女神…

ほんと怖いよね
ガチ恋とか

もし
彼氏バレなんてしたら
どんな手段に出るか
分かんないよね

ま まさか…
変わったら
離れるかも
しれないよ!

ふ…複製…

まさか…

まさか本当に…
澪くんが――…

第4介助
関係者以外
立入禁止

——しゃおり…
僕は全部
知ってるんだよ

よりによって
キミが兄さんを
好きになるなんてね…

ギッ
ギシ

同じ顔なのに
どうして
僕じゃないんだ？

兄さんとも
こうして
遊んでたのか？

それだけじゃない…

僕が買い占めた生写真だって…！

限定100枚って言ってたのに家で数えたら120枚あったぞ！

どういう事だ適当に会話しやがって！

キミの僕への愛はそんなもんだったのか裏切り者！

てっ…適当なんかじゃないのよ…！

それはただの営業トークなのよ――!!

ち違う…
そんな事するはずない…!

…私はそう何度も自分に言い聞かせた
私は彼を信じたかった

…けれど
私を取り巻く環境が

どうしても彼を
犯人と
結びつけたがる――…

はぁ…
誰もいない校舎って
不気味ね…

忘れ物するなんて…

ナカ

ナカ

ナカ

ナカ

ナカ

…何？

何か…反射して…

…なん…で…

なんで…

なんで…
私(わたし)…っ

ドサッ

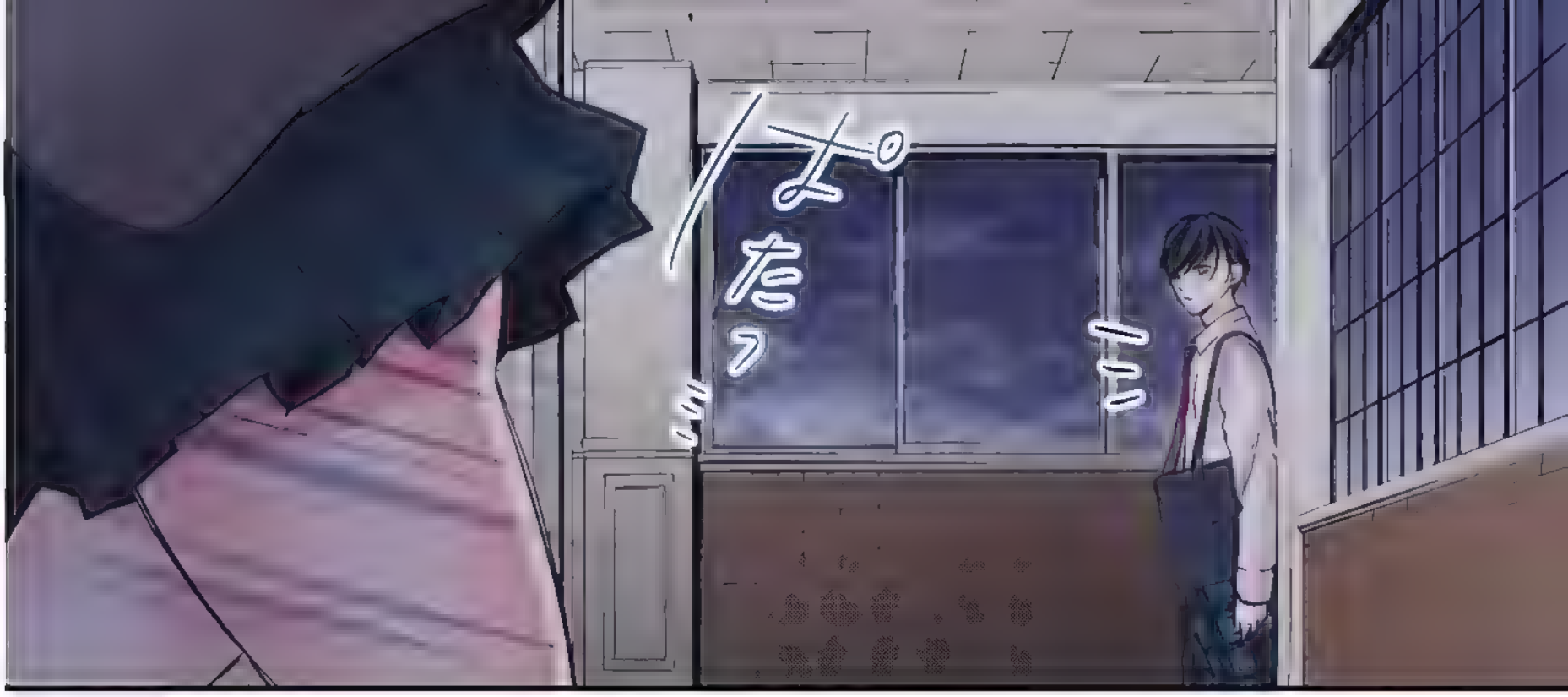
ズッ

ナニ

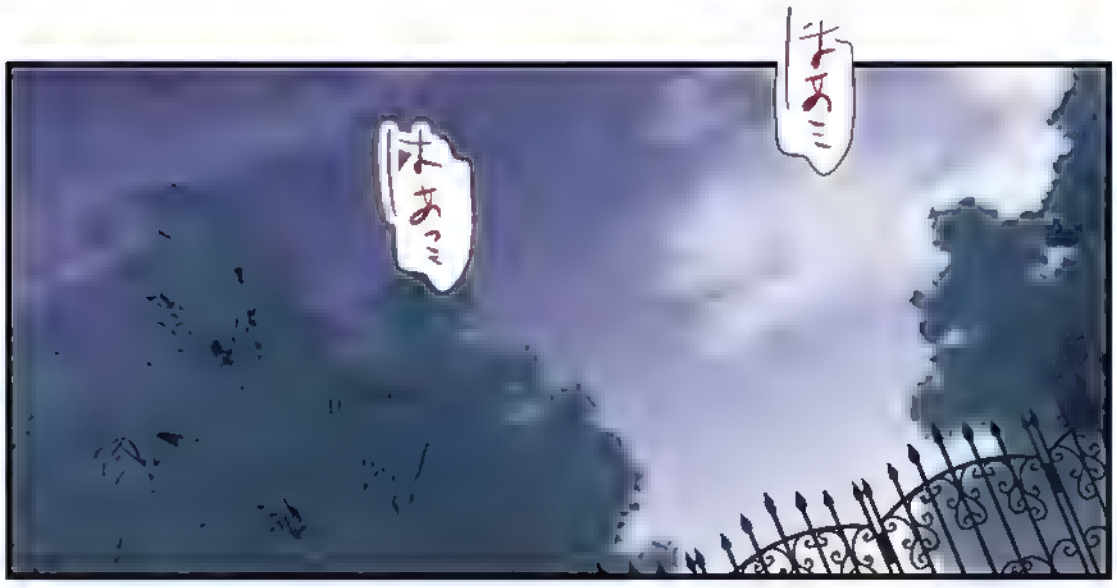
っ…あ…

2-A

なんで…
ここに居るの…？


ピンポーン

あれっ
なんだ
まだ誰かいたんだ


はあミ
はあっミ

なんで…
はあっ?
はあっ
どうしてこのタイミングでそこに居るの…!?
やっぱり…澪くんが私を憎んで…
ア…アイドルなのに恋なんてしてるから…これは私への罰なの…!?

違う…！

そんな人じゃない!!

…けど…

それなら一体

誰なの――……

それからも私は
学園での彼を
こっそり観察し続けた

自ら近づいて
犯人ではない証拠を
探そうとした事も
あったけど

おい！

結局
何も分からずに

途絶えることのない
差出人不明のメールに

私は日々
怯え続けていた――…

——それから

ついには澪くんを陥れろなんて指示がきて

私はこうしてあなたに近づいた

私は怖かった…

一枚の写真で夢が閉ざされてしまうかもしれない事

誰に恨まれて誰に監視されているのか分からない事が…

私のせいであなたたち兄弟を傷付けてしまって

本当に…ごめんなさい…！

だ…
大丈夫だよ！

ほほら…
僕なんか
こうしてしゃおりと
お喋り出来て
逆に棚ぼただし

兄さんだって
もう退院出来るから
全然心配いらないし！

…え!?

七海君…
退院出来るの…!?

…良かった…
元気になったんだ…

この間謝りに
行った時は まだ
具合悪そうだったから
私
どうしていいか
もう…

それって…
もしかしてあの時の事？

そ それにしても
誰なんだろう

しゃおりを脅迫する
愚か者が
いたなんて…

ししかも
万が一そんな写真
ばらまかれたら
どうしよう！
し
し

今後の
アイドル生命に
関わるんじゃ…！

いいの

たとえこのさき
どんな写真を
広められたって
かまわない

どんなに脅されようが
もう怖くない…！

ふっ
握手っ

これからも末永く
握手して

だって――…

僕はめくまで一生
君のファンだから

アイドルとして
幸せに――――…！

もうそんな事
どうだって
いい…！

本気で私と同じ夢を見てくれる

あなたみたいなファンが居てくれるんだから――…！

そそっか…

叶えたい夢と
普通の恋と…

心の底では
どっち付かずの私は
弱かった

だけど私は…
もう何も迷わない――

あなたのおかげで
私(わたし)は

普通(ふつう)の女(おんな)の子(こ)に
なら
出来(でき)たから――…

ない覚悟(かくご)が

…ありがとう

さようなら――!!…

よーい

…色々(いろいろ)大変(たいへん)だったんだなぁ

けど なんだか吹(ふ)っ切(き)れたみたいで良(よ)かった…!

それに
しゃおりが本気出したら
すごい事に
なるだろうなあ

来年には
紅白とか
出てたりして！

そんな子の
ファン一号だなんて
すごいな僕！

あはは…

ファン…

……

…「ありがとう」なんて

僕の方が
言い足りない位なのに――

…さようなら

僕の初恋

ペたっ

SAOR

七海

ふう

修復完了！

やっぱり…

何があっても
これが僕の生きがいに
変わりないよな…

よーし
しゃおりを
紅白に連れてく
ためにも

明日からも
オタ活頑張るぞ！

そういえば
明日は

ちょうど
僕の停学が
明ける日だ…

……

…あっ

…兄さんも
無事戻ってくるし

今日でこの生活も
終わり…か

兄さんの
フリをするのは
大変だったけど

一瞬モテたし
友達も出来たし…
なんやかんや
楽しかったなあ

エリート女子達のお陰で
苦手だった女子とも
話せるようになった

ちょっとは自分に
自信もついた

なによ
あんたから
話掛けてくるなんて
ありえないじゃない

言ってるでしょうが!!

劣等生の
僕なんかが

…今までは

「僕なんか」って
逃げ道ばかり
探してたけど…

元の七海澪に戻っても
明日からは

きっと
今までよりも少し
強く生きていける
気がする――…

こうして
僕の復讐劇は幕を閉じ

晴れ渡る空へと
消えていくのであった――

…ってか

この
性癖（せいへき）リストって

結局（けっきょく）
何（なん）だったんだ…？

——USB（ユーエスビー）…兄（にい）さんの？

USB…？

…ん？

兄（にい）さんの病室（びょうしつ）で
みつけたから
てっきり

ワンダー
ラビットガールの
手掛（てが）かりなんだと
思（おも）ったけど

結局（けっきょく）
関係（かんけい）なかったし…

…あれ…

2ページ目…!?

……

えっ…

-page 2-

青慶学園 男子性癖

男…子――…？

3年A組
性癖
レカン

生徒会室

ワンダー
ラビットガール

Wonder Rabbit Girl

【第23話】

――数週間前

ワンダー
ラビットガール…？

さあ…？
何の事かは
存じ上げませんけど
少なくとも私は
七海さんに嫌がらせなど
しませんよ
うふふ

そ、そうですか…

――…一体
どうなってんだ？

この性癖リストって
犯人の手掛かりだと
思うんだけどなあ…

二人目の容疑者
白石撫子も
シロだったという事で
また振り出しか…

【第23話】

はじまりに戻る

誰なんだよ
ワンダー
ラビットガール
って…

生徒会室

失礼(しつれい)します

今(いま)…
お時間(じかん)よろしい
でしょうか？

やあ…
君(きみ)か 勅使原君(てしわらくん)

どうした？
何(なに)かあったのか

…それが

ついに七海さんが
女生徒達に
接触し始めた様です

!?
なんだと…!?

それは
確かな情報なのか!?

ええ…
私の見たところ
間違いありません

お申し付けの通り
彼を
偵察していましたが

昨日から今日にかけて
二年の市井彩花…
更には副会長の
白石先輩まで

完璧に彼の手に
落ちたようですわ

っ…!!
七海の奴が…
なぜ急に…!?

あいつ

女に
興味なかったんじゃ
ねえのか…!?

それとも何か
企んでるのか？

まあいい…
奴がどう動こうが
俺は変わらない

自分の信念を
貫くまでだ

信念…

…そうですね

七海さんが
動き出したと
いうことは

つまり――…

この学園を
寝取られ王国と化す

寝取ら歴史の
幕開けです――！

…ふっ…

やはり七海 蓮は
期待通りの
人間だった様だな

俺の目に
狂いはなかった…！

この調子で
学園の女子全員
落としていくがいい

俺の為にな！

あはははは

君は引き続き
奴の身辺調査を
よろしく頼む

寝取られたら報告するように

畏まりました

七海 蓮は

俺の性癖の
生け贄だ

性癖
ヒカンダウリズム
(寝取られ愛好)

誰でもいいから
学園の全ての女子を
俺から掻っ攫って
欲しかった

この俺以上に
モテる可能性が
あるとするならば
七海 蓮しかいない

だが奴は昔から
女に興味がないのが
透けて見えていた

その反面…
生徒会長の座には
なぜか異常なまでの
執着心を持っている

だから俺は
七海 蓮にこう言った

お願いします

生徒会長!!

生徒会室

ワンダー
ラビットガール

…誰なんですか
…それは…

バーカ
誰か分からない
その女を
見つけるんだよ

そいつを見つければ
たとえ他の誰かが
推薦状を集めようと
確実にお前が
生徒会長になれる

女嫌いの七海 蓮を
片っ端から女子に
接触させるための
出任せの条件…

こんな嘘も
見抜けない程
奴は理性を失っていた

これまで女に
興味を示さなかった
七海 蓮が

学校中の女子を
とっかえひっかえ
口説いてるなんて
噂も出始め

俺から
乗り換える女も
続々現れ始めた

ふっ…
まさかこうも
上手くいくとはな
寝っ取られ100人
出来るかな♪

これも
会長の手腕の
賜ですわ

パチ
パチ

さて…
勢いが落ちない内に
勝負をかけようか

君が寝取られた
暁には

俺の野望は
極地へと達するだろう

…わ

私…ですか？

そう 君だ！

君は俺の秘書だろ？

心置きなく寝取られてきたまえ！

……

…畏まりました

会長の為とあらば

私は必ずやり遂げてみせますわ――…

私は会長の

正妻の様なものですからね…

はあー

まだ兄さんのフリを続ける事になるとは…

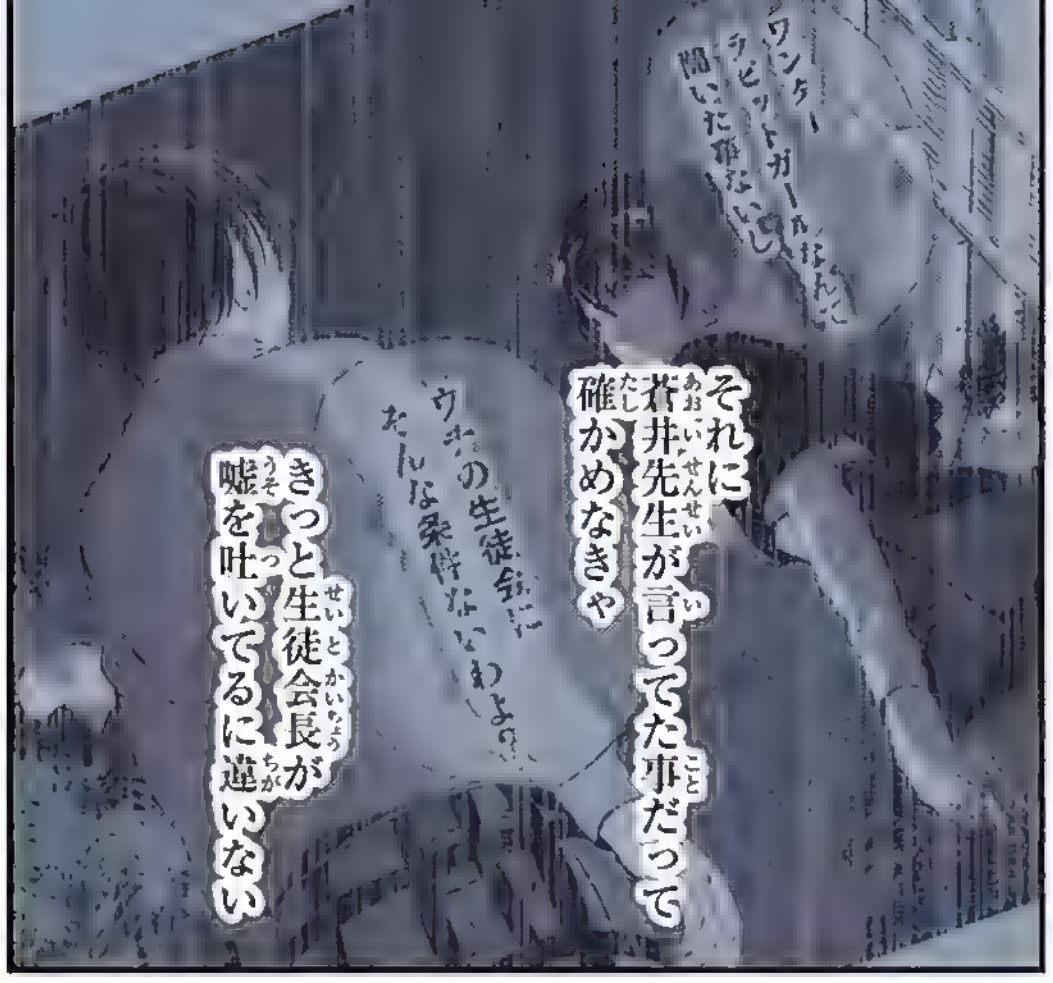
でもなあ…

あんなページ見ちゃったしやっぱり真実を聞かなきゃ…！

青慶学園 男子性癖

男…子……？

まあ推薦状も
全部集まったし
どうせなら
生徒会長になっておいて
退院した兄さんを
ビックリさせよっと！


それに
蒼井先生が言ってた事だって
確かめなきゃ
きっと生徒会長が
嘘を吐いてるに違いない

ここが
生徒会室かー
なんか
緊張するなあ…

生徒会の人達ともなると今まで以上に要注意だ…

兄さんのフリだってバレない様にそれとなく探らなきゃ…

――あら？

そこに居るのは七海さんですか？

ごきげんよう

生徒会室に何かご用事ですか？

あ…
君は確か

会長秘書の
勅使原さん…

立ち話も何ですから
中へどうぞ
会長は先生方と会議で
いらっしゃいませんから
おくつろぎ下さいな

なんだ…
生徒会長は
いないのか…

けどこれは
チャンスだぞ…

秘書の勅使原さんなら
何か
知ってるかもしれない

一体生徒会長が
何を企んでるのか

そして…

ねねえ…！
君に聞きたい事があるんだけど

生徒会長って寝取られ…

あら？
もしかして手に持ってるのは推薦状じゃありませんか？

えっ？
あっ…
そうだった

推薦状と先生のサインも貰ったから提出しようと思って…

まあ！
そうだったんですか！

それじゃあ…

会長選には七海さんが一番乗りですね

ふ…

楽しみですわ

もしかしたら
次は七海さんに
お仕えすることに
なるんですもの

もう会長とか
どうでもいいや

こんな
キレイなお姉さんと
二人っきりなんて
緊張するなあ

もしかして
この秘書さんも
性癖リストに
載ってたりするのかな

いいなあ…
こんな人が
何でもお世話して
くれるなんて——…

ふふ…
洗い足りない所はありませんか？

私を指名して頂き嬉しいですわ…
お時間まで私がたくさんご奉仕させて頂きますからね

はい
それじゃあ
泡を流しましょうね
ローションで

よいしょっと

あらら…？
まだここがキレイになってないじゃないですか

ソーー!!

ふふ…
私に全部
お任せ下さい…

ちゃんとココも
私がキレイにして
差し上げま…

!?
きゃあっ！

い いけません…！

私にお任せ下さいと言いましたのに…っ

ここれでは…
またヨゴレて
しまいますわ…っ

ああっ…！

せっかく洗い流したのに

なぁぁぁ

大量

またもや大量のボディーソープがーーっ！

お待たせしました
七海さん
お茶が
入りましたよ

あら？
ボーッとして どうか
なさいました？

なんでも
ないよ
ありが…

あっ

ああああ
私としたことが！
七海さんに
熱湯をぶっかけて
しまった――!?

うわーん

ささ！
手をお出しに
なって下さい！

あはは…
気にしないで

ちょっとしか
かからなかったし
大丈夫 大丈夫…

ヒリヒリ

ぎゃあああ

いいえ
いけませんわ…

ここれは…
まさか…

ちゃんと…

手当(てあて)させて
頂(いただ)きませんと…

妄想が

現実になった――!?

兄さんも元気になったし…いいよね？

これがきっと最後のチャンスだし今行かなきゃ一生童貞だぞ 僕！

ししかし既成事実だけ兄さんに押しつけて学園を去るのは流石に心苦しい…

くっ…！ここへきてまで柵が僕の行く手を阻むというのか…っ！

痛く…ないですか？

柵など乗り越えてやる

たとえ火の中君の中

すり…♡

――ああ…ついにこの瞬間がやってきた

私自ら
この躰を使う時が…

これできっと

会長も
喜んでくれる…

…えっ!?

会長って
どういう事!?
それを聞くまで
抱けないよ!

そ それは…

いや 抱けるわ

会長…!?

…生徒会長!?

っ…

やっぱりこれも
何(なに)かの
罠(わな)だったんだな…

僕(ぼく)は
知(し)ってるんだぞ…

生徒会長(せいとかいちょう)の
トンデモ性癖(せいへき)の事(こと)！

秘書(ひしょ)の君(きみ)なら
知(し)ってるはずだ…

会長(かいちょう)が言(い)った
ワンダー
ラビットガール
の事(こと)だって
嘘(うそ)なんじゃないのか!?

そんな嘘を僕に教えて
一体会長は何を企んで居るんだ！

……

っ…
申し訳ありません
会長…

私とした事が
とんだ失態を
犯してしまった
ようですわ…

…あれは

一年ほど前の
事でした――…

生徒会室

なあ 勅使原君

君は他に気になる男はいないのか？

何をおっしゃるかと思えば…

そんな方居りませんわ

こうして会長の御世話が出来るだけで私は光栄ですもの

……

だよなあ…

はあ…

寝取られたい…

これまで
俺のファンには
それとなく他の男を
紹介してきた

だが
どいつもこいつも
俺の下から
離れやしねえ

はあ…

俺が
圧倒的人気で
モテ続ける限り

この夢は
決して叶う事が
ないのか…

そうですね…
唯一可能性が
あるとするならば

私と同じ一年の
七海さん位かと

七海 蓮…だと？

ピク

あいつは
確かにモテる

俺だって
中学の時から
目を付けてたさ

だが奴は駄目だ
言い寄られるだけで
モノにしようと
しねえんだから

もっと
俺から強引にでも
奪ってきそうな
奴じゃねえとな

それなら

こんな方法はどうですか？

彼の次期生徒会長に対する執着心は尋常じゃありません

その弱みを利用して否が応でも女生徒に接触させる状況に陥れればいいんですよ

例えば居るはずもない架空の女生徒をでっち上げそれを彼に探させる…

名前はワンダーラビットガールなんてどうでしょう？

――…そう

私が会長の
くだらない性癖を利用して
七海 蓮をぶっ壊したのよ

…どういう意味か
お分かりかしら

弟君？

……

ああ…私は
待ちわびていました
この瞬間を

何も知らずに兄として
私に話し掛ける
あなたの姿

それはそれは
滑稽でしたよ

さて…
知っていますか
七海さん？

あなたの大好きな
木ノ下さんに
脅迫メールを送り続け

彼女を
ワンダー
ラビットガールに
仕立て上げたのも私

…で…

七海 蓮が
倒れたその瞬間

一緒にいたのも
この私

そして――…

あなたが
学園に居るのも

全部私の
筋書き通り

っ…じゃあ…
き君だったのか
兄さんが
言ってた…

ワンダー
ラビットガールって…

そんな
単純な思考だから

あなたは
いつまで経っても
童貞なんですよ

使い道のない
こんな粗末な棒なんて

いっそ
切り取ってしまえば
どうです？

ガーン

そっ…

S末な…
棒…っ!?

だって その方が

きっとお兄さんも
幸せになれますもの

…なん

だと…!?

僕の
粗末で短い棒と
兄さんの幸せに…

一体 どんな
因果関係が
あるって言うんだ！

「ワンダー
ラビットガール」…

それが

七海(ななみ) 蓮(れん)を苦(くる)しめる
人物(じんぶつ)を指(さ)すと
するならば
他(ほか)でもない――

真(しん)のワンダー
ラビットガールは

七海 蓮

性癖
インセス
(近親愛)

弟(おまえ)という存在(そんざい)なんだよ七海(ななみ)澪(れい)!!

さあさあ お前のトンチンカンな頭でよく考えな！

そんな七海 蓮の愛する弟を女狂いのダメチン野郎にして!!

私はもっと！あいつの心を苦しめてやりたかった!!

病室にUSBを残せばあなたなら

敬愛する兄の為学園に潜入し続けると信じてましたよ

モテる兄貴の立場はさぞ愉しかったでしょう！

寄ってくる女は星の数！

だが ご丁寧に弱点リストまでくれてやったのに!!

いつまで経っても結局 童貞!!

おはよう

さあ次は
弟が壊れる番だ
七海澪!!

…あなたが
存在しなければ

七海 蓮は
苦しむ事もなかった

…あなたさえ
いなければ…！

突きつけられた
現実を前に
僕はどうする事も
出来なかった

助けたいと思っていた
兄さんを苦しめる
本当の元凶…

…それが

僕達は
兄弟という事――…

新使原まりや
性癖
└加虐性愛
(サディズム)

ワンダーラビットガール 6 (完)

ワンダー
ラビットガール

Wonder Rabbit Girl

4巻で募集した「JKに言わせたいセリフ」から
採用されたセリフに絵をつけるという企画です。

※6巻ではこの中から1つ、続きは7巻に掲載予定です。

投票いただいた中から選ばれた
キワどいセリフはこちら!
なお、選ばれた5つのセリフは
全てマンガ化
決定!

たくさんの投票 ありがとうございました!

市井 彩花(性癖:説教愛好[ハロフィリア])
「怒られても怒られても身体が
満たされないの。だからお願い身体も満たして?」
20代男性 ゆったん(比翼恋理)さん
コメント 説教好きな子のストレートな懇願が、
もう理性とんでる状態なんだろうなと想像出来ていいなと思いました!

「もっとして....もっとイッて〜!!」10代男性 T.takuさん
コメント お説教言われながら昇天の二重の意味で、
もう最高に最果て状態という様子が想像出来ていいなと思いました!

成澤 こはる(性癖:窃盗性愛[クレプトフィリア])
「私の防犯ガラスは貫通済みよ」20代男性 春風邪さん
コメント シュールなのにエロいの極み、の様な
セリフだと思いました!鉄壁のガードを強行突破していくんだろうなと…

「あなたの部屋の鍵は私が絶対盗って
やるわ。代わりに私の部屋の鍵穴の形状を
教えてあげる。」20代男性 マサヒラさん
コメント 「代わりに私の鍵穴の形を教えてあげる」が、
とにかく見えはしくて捗らなそうな誘ってる感がすごくていいなと思いました!

白石 撫子(性癖:医療性愛[メディカル・フェティシズム])
「私にあなたの注射器を挿れて、たっぷり
栄養を入れてください。」30代男性 アナコンダさん
コメント 全ての健全なはずの単語の
相乗効果がすごくて、とても官能的だなと思いました!

ーまおまけー

ほのぼの女神劇場

ー巻末おまけー

あっ
あっ
本当に これで
熱が下がるん
ですか…っ
せ 先生…っ
なおシ
はっ

もちろんさ…
風邪の時は
ココを舐めると
良くなるって
医学界では もはや
常識なんだよ？
ビクン
そ そんな…！
ああっ！
医学の進歩…っ
しかし
この風邪は
やっかいだな…
検査の結果も
芳しくないし
氏名
白石撫子

うーん
やむを得まい！
最先端の
塗り薬を処方しよう

B-薬

さ 最先端!?

フルフル

さあ 自分の指で
塗り込んでごらん

ぬるっ
ぬっ

せ せんせえ…
本当に最先端の薬
なんですか…!?

くちゅ

あっ

ああっ…
どんどん熱が
上がって…

きつ
あっ

あっ
あぁ

もうっ…
止まりません
…っ！

くちゅ

ガマン
出来ません…
先生…っ

最先端の薬より
早く先生の
先端を…っ！

早く先生の注射器を
挿れて…っ

私にたっぷり
栄養を入れて下さいいっ！

( ) あとがき ( )

ワンダーラビットガール⑥巻を
お買いあげありがとうございました。

前巻から引きつづきワンダーラビットガールとは…という
話でした。そして主人公の失恋バナシです。
私がこのマンガを描いてる中で唯一のこだわりが、
ヒロイン達とめくるめくエロ展開になっても主人公は本命以外に
頬を染めない事でした。
たとえ目の前で乳が揺れようとも恋心は揺れないぞという
事です(笑)

次の⑦巻で完結です。最終回翌月の特別読みきりも
収録される予定です。
では、⑦巻も読んで頂けたら幸いです。

2017.02.03 WINTER

はじまりました
今から
[illegible]しようと
思うんだけど
どうかな？

まあ
よろしいんですの？

ぜひお願いしますわ
金髪豚野郎！

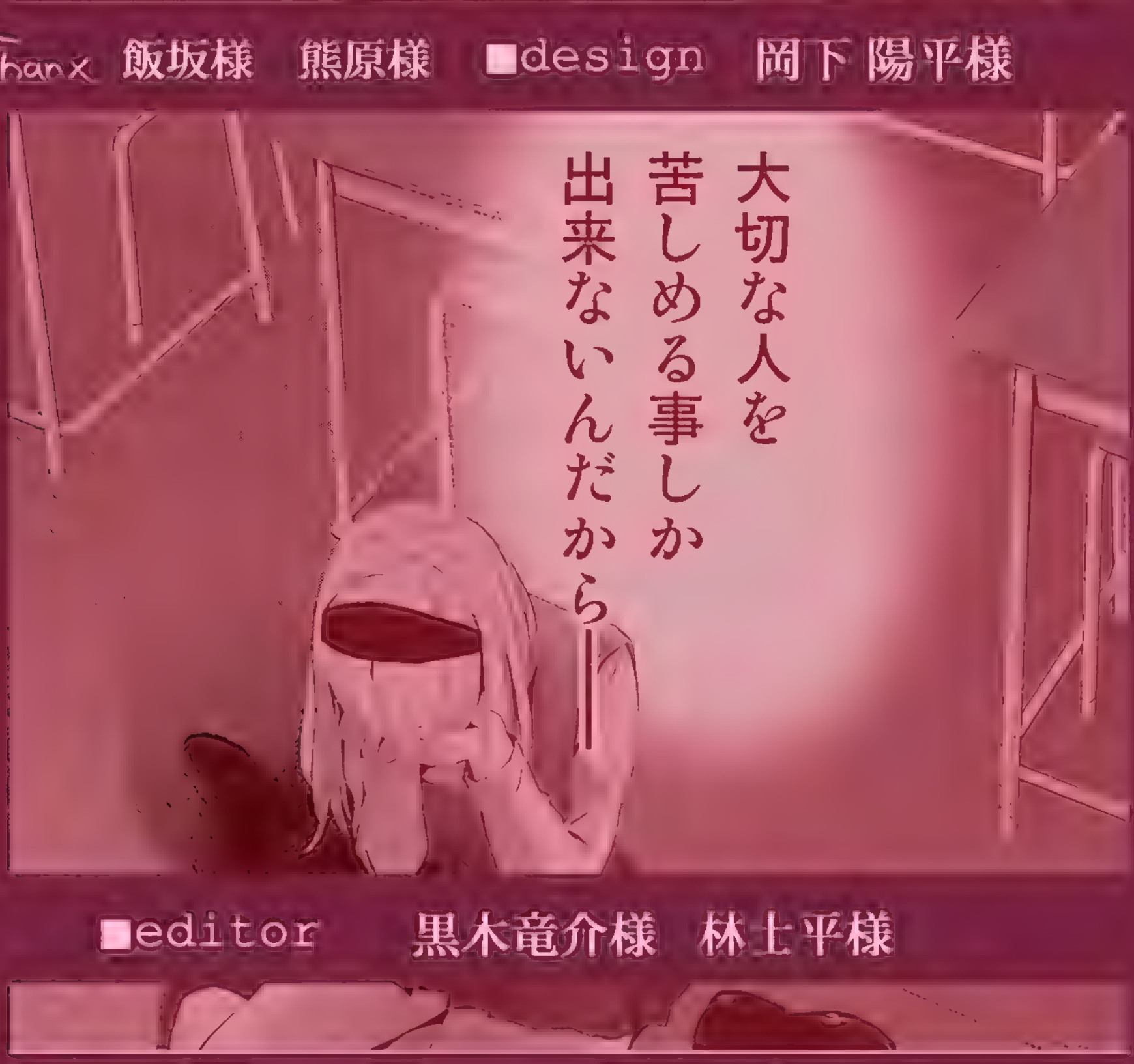
[illegible]
うつかかたった

ドキッ…

[illegible]

[illegible]

Thanx 飯坂様　熊原様　■design　岡下陽平様



■editor　黒木竜介様　林上平様

デジタルカラー版

ワンダーラビットガール

6巻

廣瀬ゆい

© 廣瀬ゆい 2017, 2018

初版発行　　2017年
デジタル版発行　2018年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信(インターネット上への掲載を含む)することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

JUMP COMICS SQ.
ラビット・ダンク・ガール 6
廣瀬ゆい
集英社

廣瀬ゆい

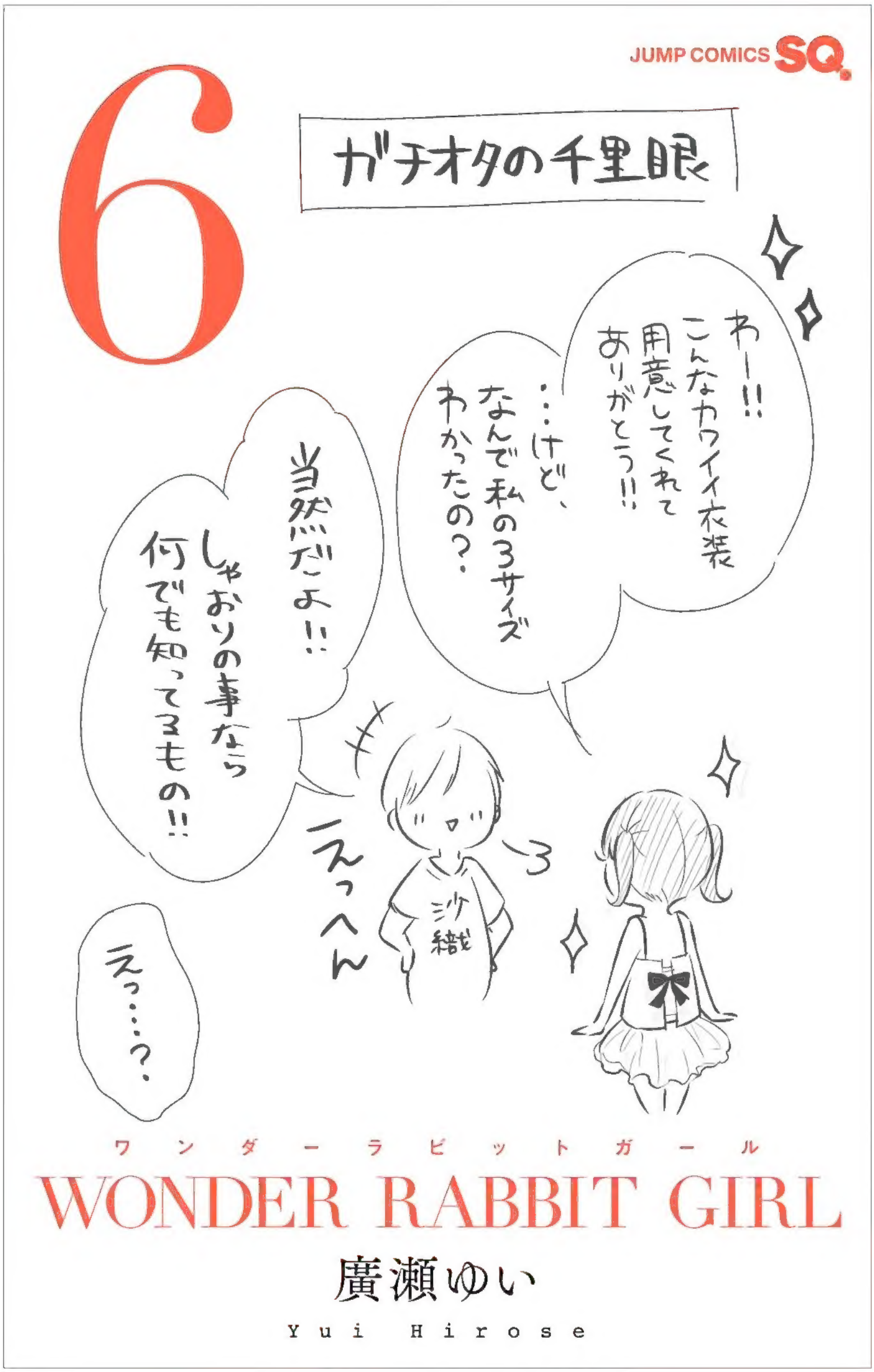
6巻です！
4月22日にサイン会がありますー(2017年)。
詳しくはTwitterなどをご覧下さい！

ジャンプスクエア 2017年1月号～4月号に
掲載分を収録。

Cover Design
岡下陽平(Inazuma Onsen)

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。



本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

WONDER RABBIT GIRL

Yui Hirose

JUMP COMICS
ジャンプ コミックス

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。